



## お彼岸のいろは



お彼岸と言えば……



☆なぜ「暑さ寒さも彼岸まで」というの？☆

春分と秋分は、いずれも二十四節気のひとつで、暦の上では春と秋の折り返し地点となります。

そして、春分と秋分に昼と夜の長さがほぼ同じになり、春分以降は昼が長く、秋分以降は秋の夜長に向かいます。昼と夜の長さが同じだからといって、春分と秋分の気候が同じになるわけではありません。



暑さの名残で秋分のほうが10度以上も気温が高いのですが、厳しい残暑や寒さも目処がつくため、「暑さ寒さも彼岸まで」というようになりました。

### ☆神話&伝説☆

お彼岸の頃、開花するので「彼岸花」と呼ばれています。また、曼珠沙華（マンジュシャゲ）とも呼ばれ、梵語「赤い花・天上の花」の意味で、おめでたい兆しとされています。



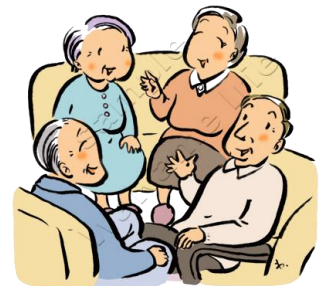
### 介護のはてな? 第4回「グループホーム」

9人の高齢者がひとつ屋根の下で、個室を持ちながらともに日常生活を送るイメージで、介護保険のサービスとして始まりました。

洗った食器をふいたり、配膳・テーブルふきなど、ごく一部の生活作業を役割として担う場合もあります。ただし、医者から認知症の診断を受けた方が対象。日常のすべてに世話を受ける“施設入所”ではなく、小規模で自由度の高い家庭的施設のほうが、認知症進行抑制には好ましいと言われます。この場合も、その生活が合う人合わない人はおられますが。

介護人員配置はグループホームにおいても不十分で、最近では9人でなく、6人単位が検討され始めたようです。

グループホームという少人数の施設形態は、高齢に先立ち障害者の分野で、1989年から始まっています。名称が同じなのでわかりにくいですが、障害者のグループホームは若い方が入所しています。旭区内には69箇所。高齢者のグループホームは27箇所。他施設と同様、地域との交流には力を入れています。



## Dayみなまき 夏まつり

猛暑が続くなか、ご利用者の皆様にはお元気に楽しく、夏まつりを楽しんでいただきました。今年は、紙風船をスイカに見立てたスイカ割り、フリスビー、ストライカーゲームで盛り上がりました。



また、スタッフによる花笠踊りも皆様の心に残ったようです。

来年も、楽しいことを考えていきたいと思っています。

